



AIがゲーム攻略を助けてくれる 「Project G-Assist」

経営学部経営学科 22161412 高橋 和真

AIがゲーム攻略を助けてくれる「Project G-Assist」

- ❓ NVIDIAは、ゲーム向けのAIアシスタント機能など、GeForce RTXシリーズGPU関連の新機能を複数発表した。
- ❓ Project G-Assistは、GeForce GPUを使ったゲーマー向けAIアシスタントの技術デモ。攻略サイトやデータベースなどを見て、情報を調べながらゲームをプレイするといった場面は少なくないが、こういった作業をAIがアシストしてくれるというものになる。
- ❓ 攻略情報だけでなく、ゲームのフレームレートや遅延の分析、PCの構成に最適なグラフィックス設定など、システム周りのサポートもできるという。

RTX GPUのPowerを活用したさまざまなAI機能

- ❑ 超解像度技術のRTX Videoは、新たにVLC Media Playerと動画編集ソフトのDaVinci Resolveで利用可能となる。これまでGoogle ChromeやMicrosoft Edgeなど向けに提供していたもので、AIを使って超解像化やHDR化をできる機能となっている。
- ❑ 開発者向けには、汎用的な事前学習済みAIモデルを使ったWindowsアプリケーション開発で利用できる「NVIDIA RTX AI Toolkit」を発表。
- ❑ また、生成AIを使って対話できるNPCを実現する「NVIDIA ACE」では、Riva ASR(音声認識)、Nemotron SLM(小規模言語モデル)、Riva TTS(テキスト音声合成)、Audio2Face(音声に基づく表情生成)をマイクロサービスとして提供する「NVIDIA ACE NIMs for Digital Human」を発表。RTX AI PCデバイス上で高品質な推論を実行できるとしている。

小型ケースにハイエンドカードが収まるか分かりやすくするガイドラインも

- ❓ 大型になりがちなハイエンドクラスのビデオカードについて、小型ケースに入るかどうかを判断しやすくするための「SFF-Ready Enthusiast GeForce Card Guidline」も発表された。
- ❓ このガイドラインでは、スモールフォームファクタ(SFF)向けの共通の基準として、カードサイズを304×151×50mm(2.5スロット厚)、ケースの装着スペースを312×154.5×50mmと定めている。これを満たすカードやケースは、SFF-Ready Enthusiast GeForce Card対応製品を謳うことができ、ユーザーはカードがケースに適合するか簡単に確認できるようになる。

コメント

❓ 比屋根 一雄

三菱総合研究所 執行役員兼研究理事 生成AIラボセンター長

ゲーム攻略のAIナビゲーターと言うべきものですね。自身のゲーム履歴をすべて覚えて、アドバイスしてくれたらさらに楽しいかもしれません。

❓ 小峰 弘雅

株式会社ベイカレント・コンサルティング / カーボンニュートラルチーム
JDLA研究会「AI データと個人情報保護」 / 副座長

子どもの時は攻略するのが楽しみだったから、この良さが分からなかった。今は攻略サ イトを見ながらゲームするから、良いと思う。

一方で作り手はどうだろう。

簡単に攻略されるのが分かっていると難しくする気が失せる。それとも、AIが解けないほど の難しさを求めるのだろうか。

どちらにしても、昔とは考え方がそもそも違うから、比べられない。



感想



- ❑ 絵を描いたり、動画編集をしたりとAIの活用方法の幅が広がっていることはわかるが、ゲームは攻略方法を自分で模索したり、自分の手でクリアすることに醍醐味があるのではないかと感じました。
- ❑ 自動計算や自動コマンド装置といったツールをAIが取り扱うようになったのだと時代の進歩を感じました。